

手塚治虫と戦争

特別編集版

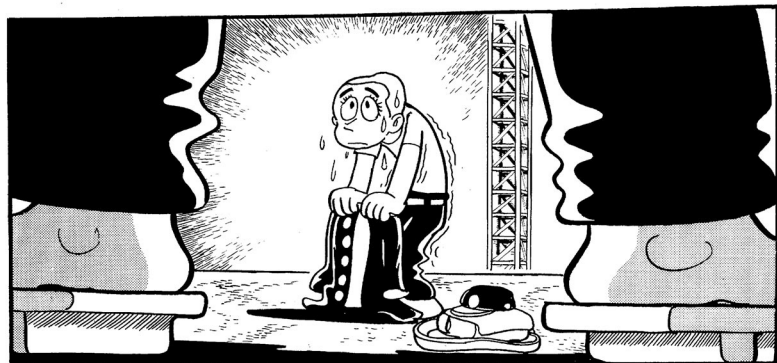
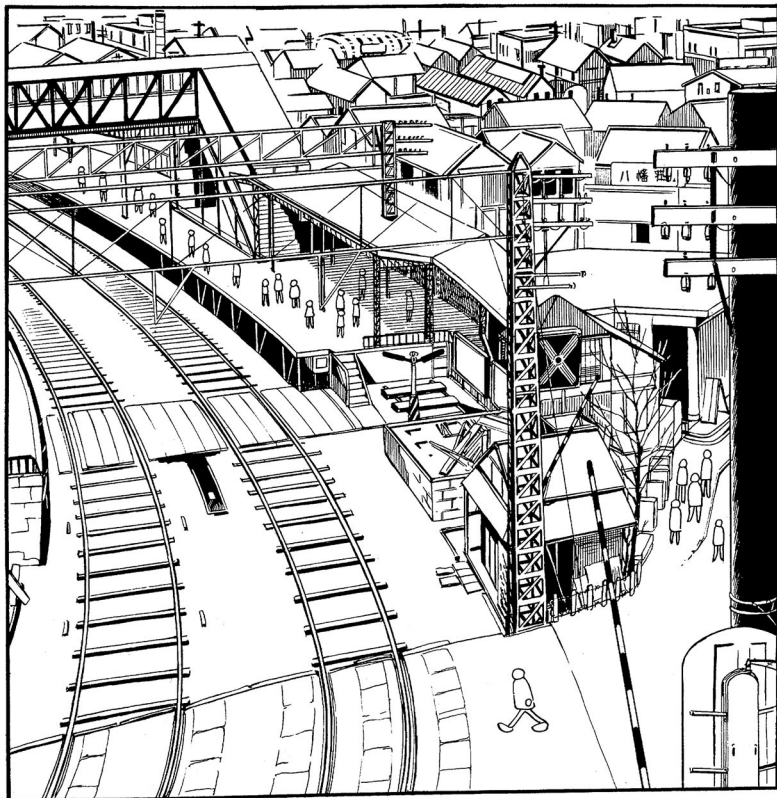
ゴッドファーザー
の息子

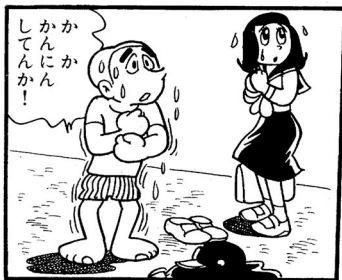
手塚治虫

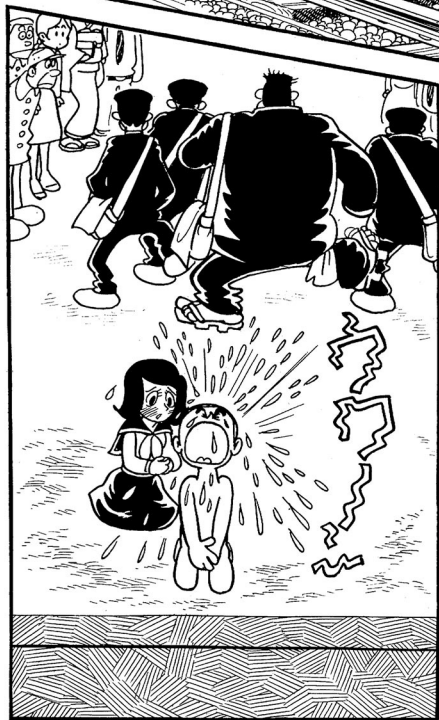
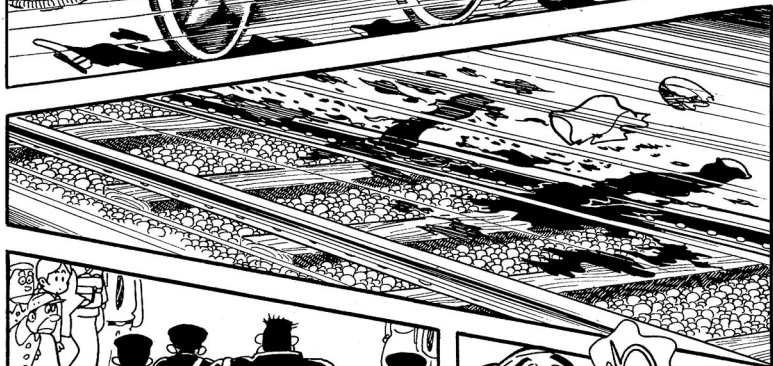
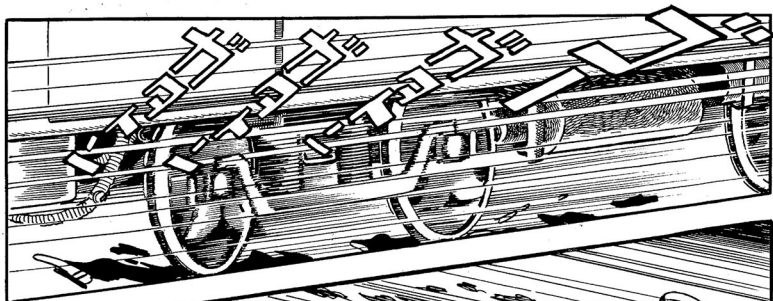
※このページは白紙です

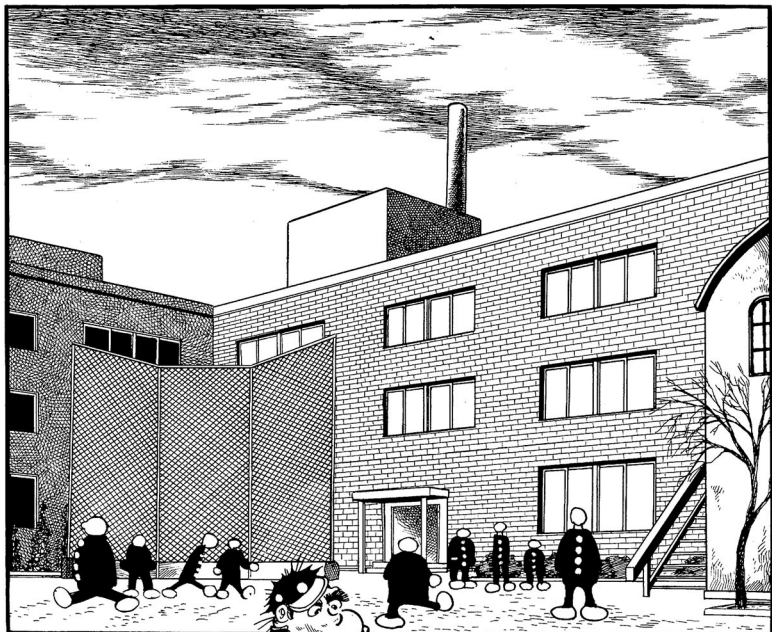
スティーブ の 日記

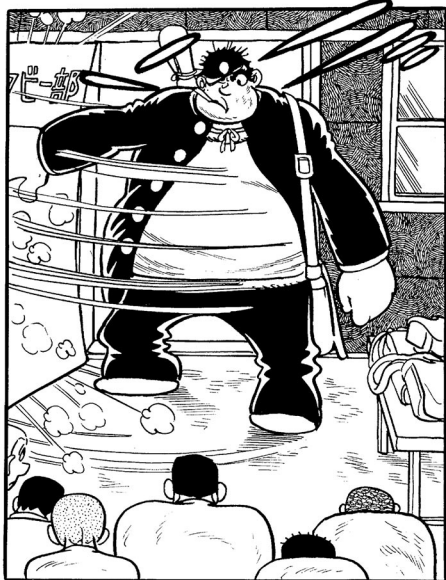
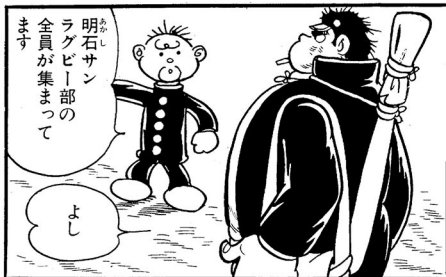


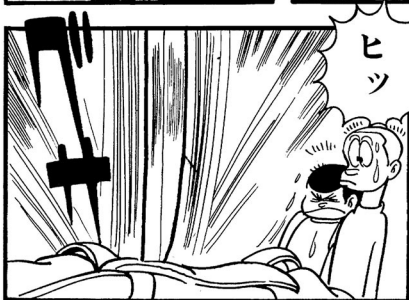


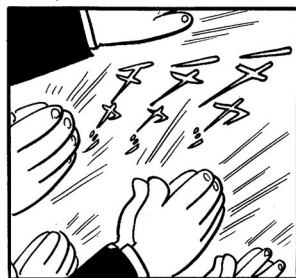


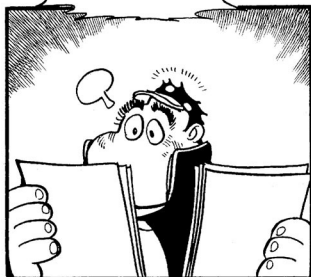
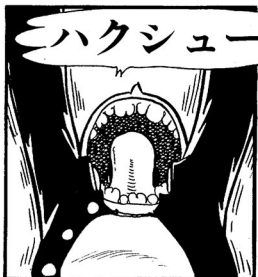


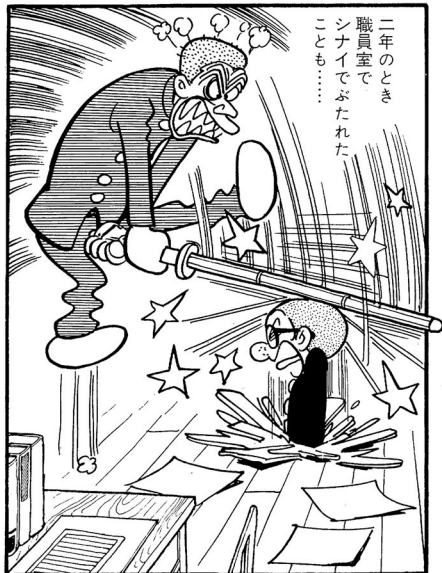
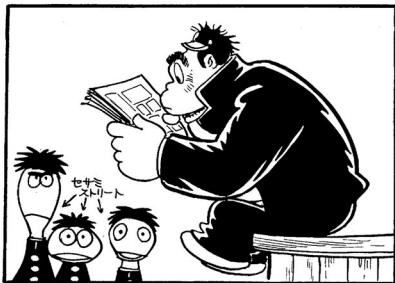
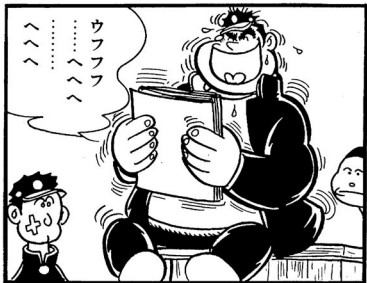


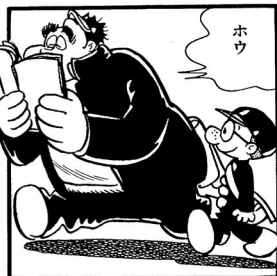
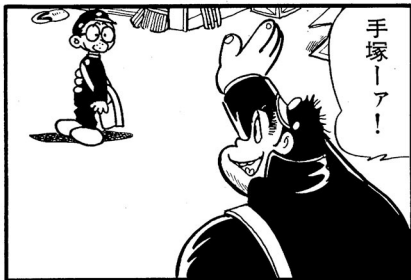




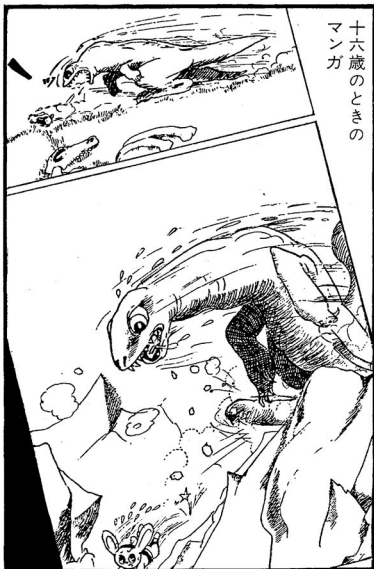








十六歳のときの
マンガ



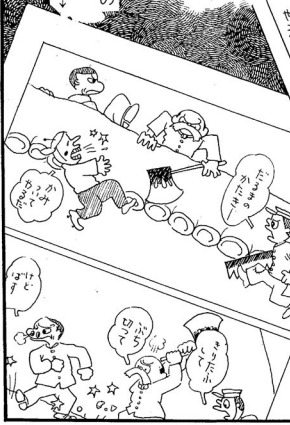
ほく
生まれつきチビやし
体力がないもんで…
小学校んときから
みんなにバカに
されとつたんです

十歳のときの
マンガ



でも むかし
オヤジやおフクロも
まんがが好きやったから…
まんがの本ようけ
こうてきてくれて
おいてあるんや
そのうちに
まんがかくのが
生きがみたいん
感じてきましたん

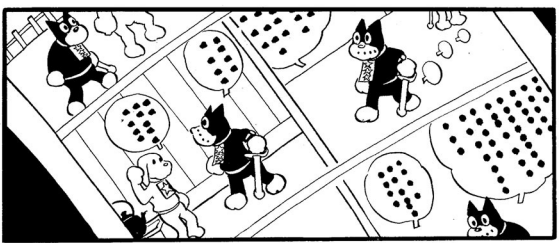
十二歳の
ときの
マンガ↓

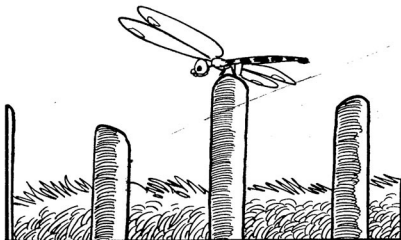


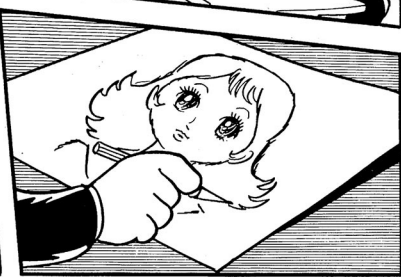
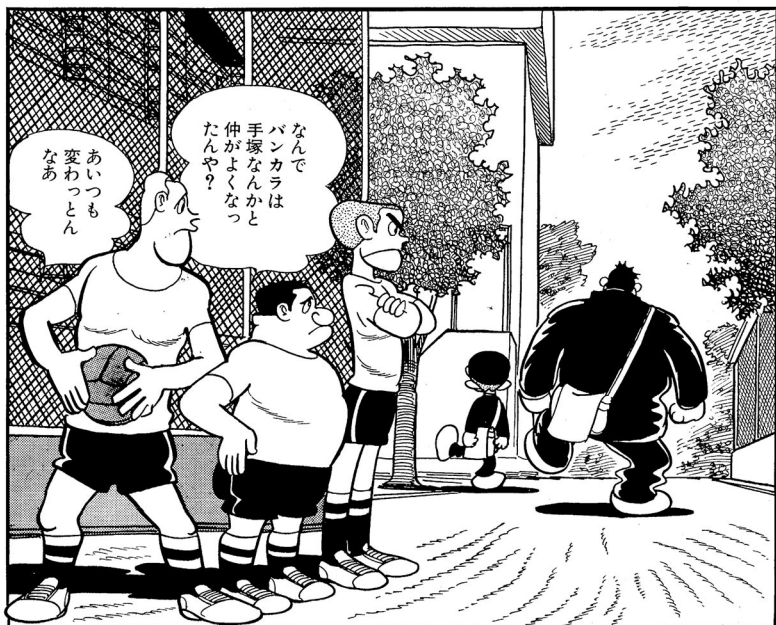
見せてくれ
たのむ
貸してんか



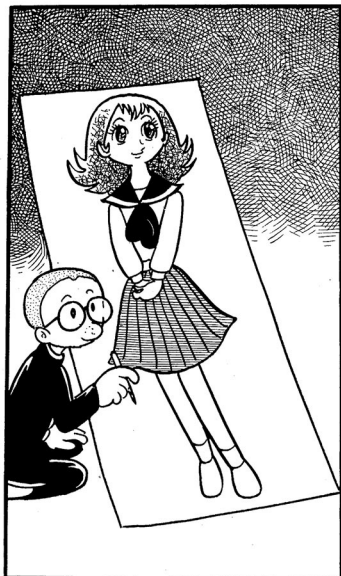
ここにも
一さつある
けんど……

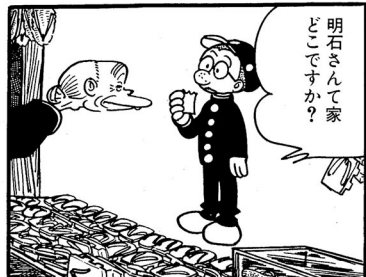
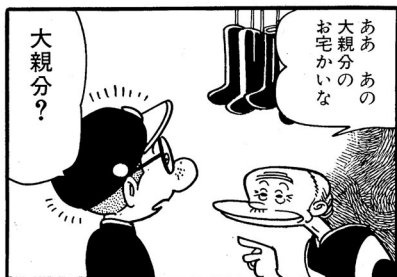
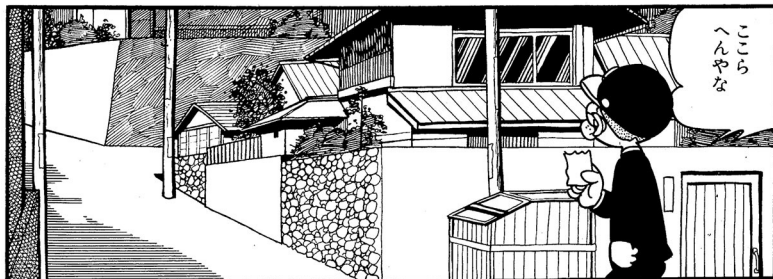
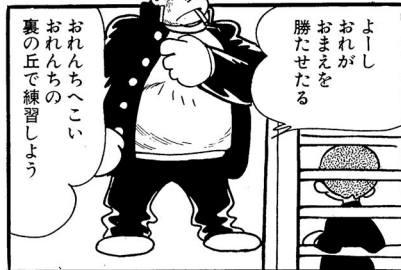
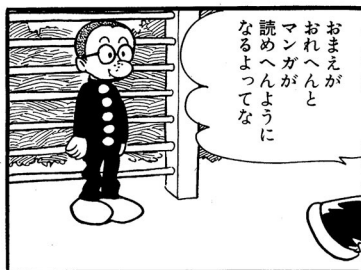


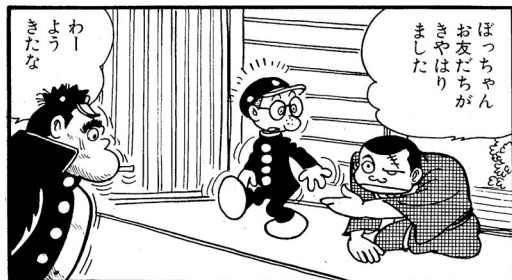
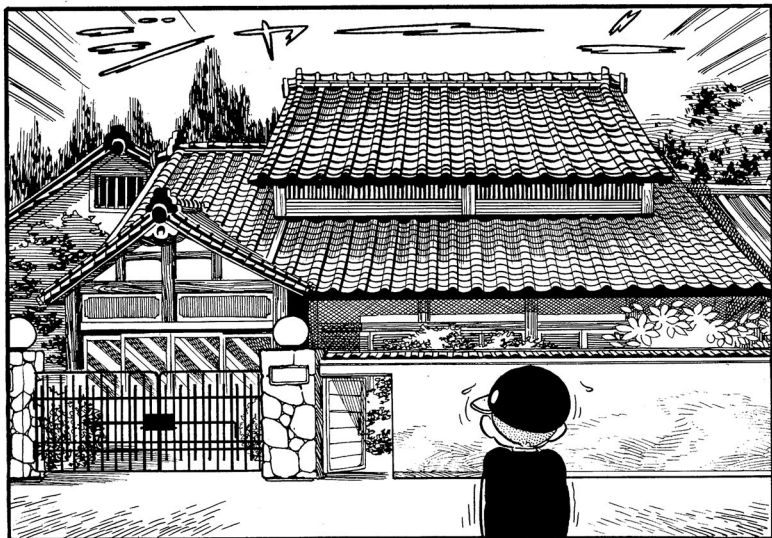


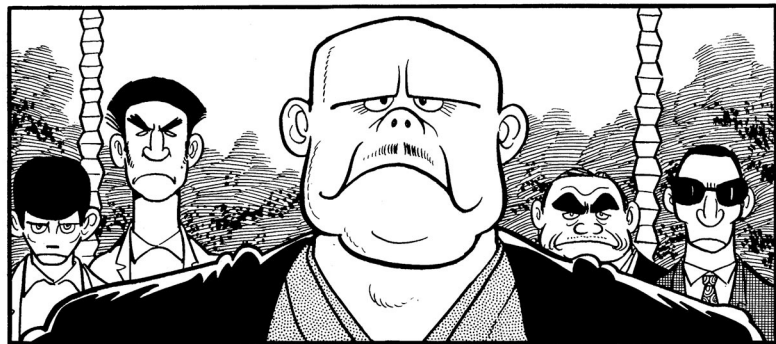
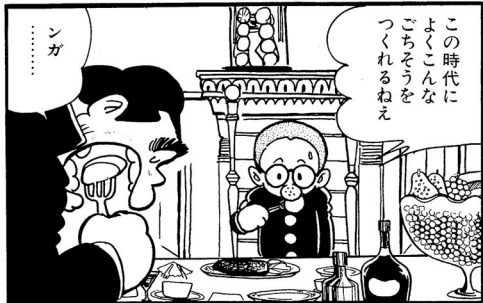




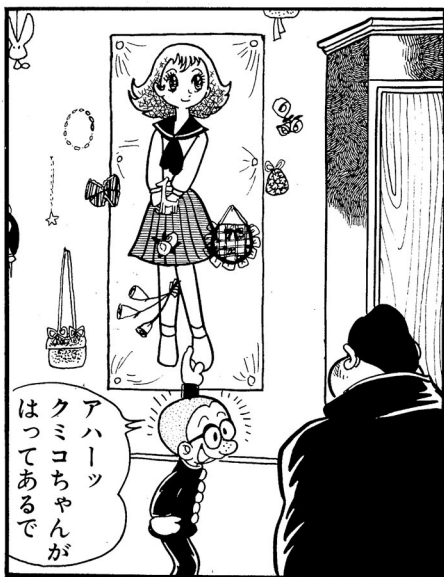
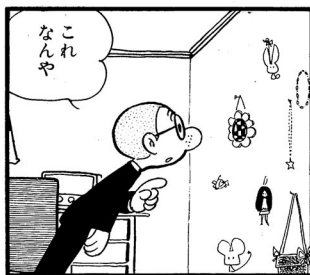
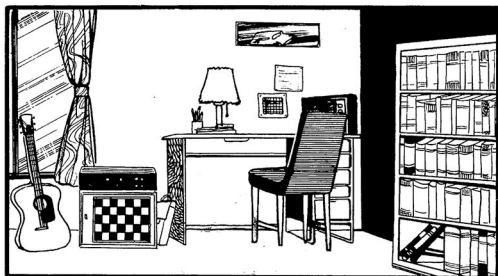


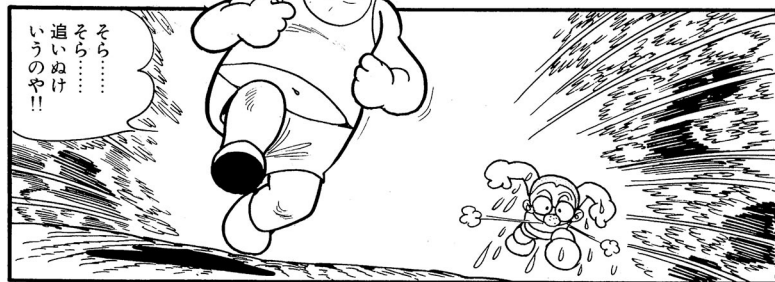


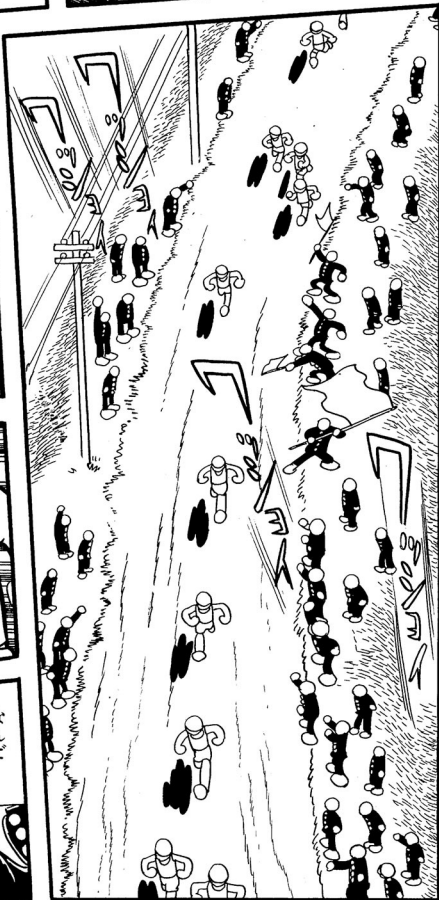
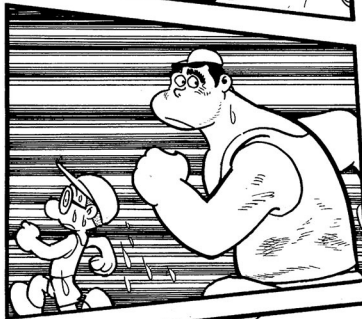


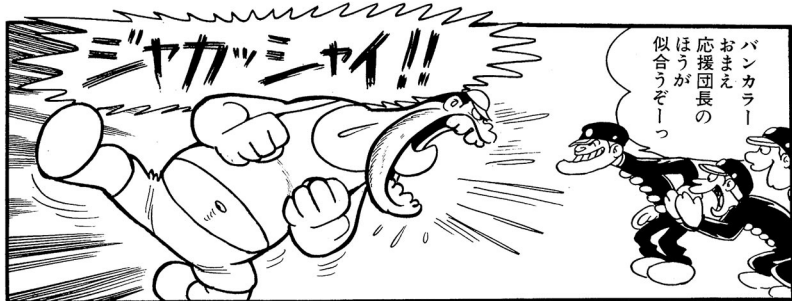


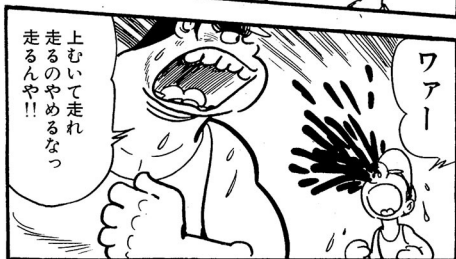
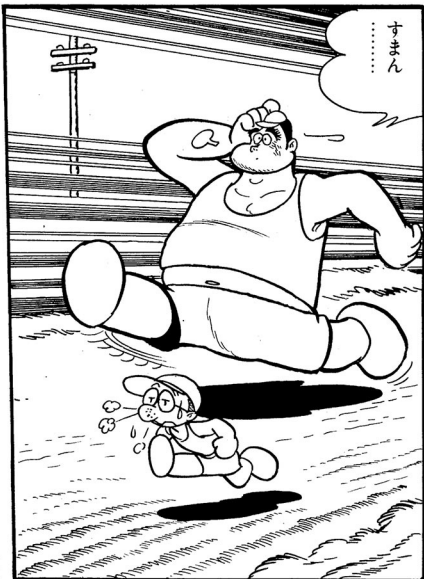
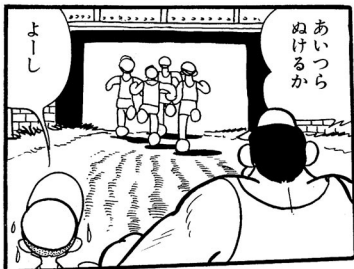


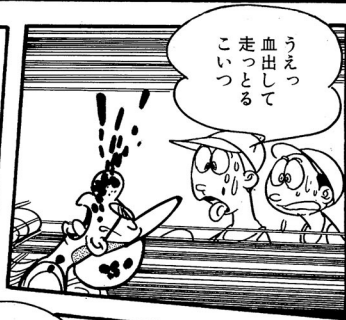
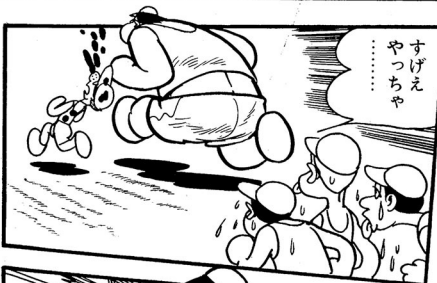
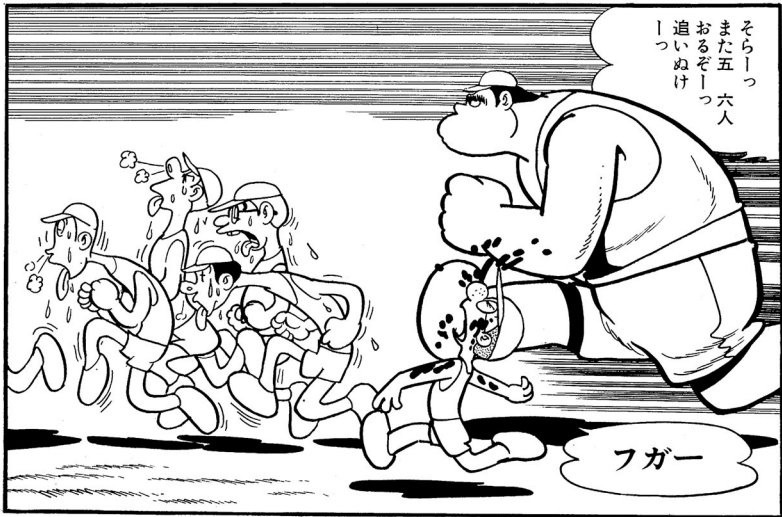




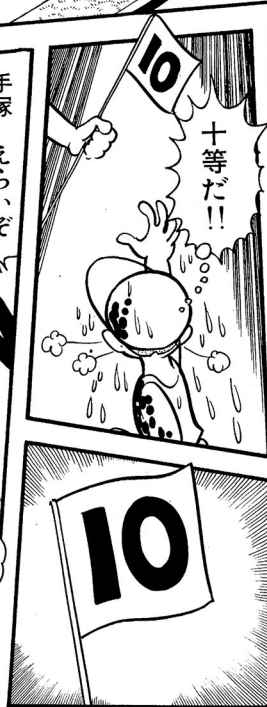
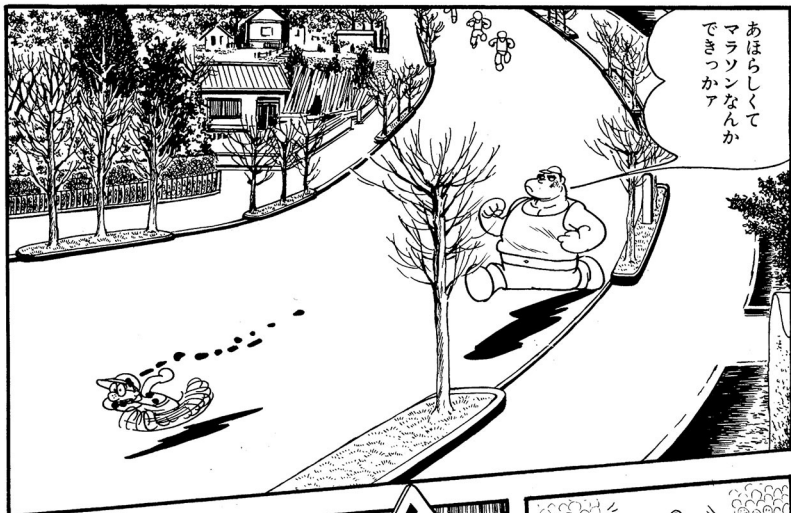


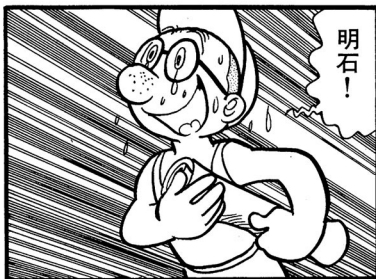






あほらしくて
マラソンなんか
できっかア





明石!



十等
手塚治



これ見て
くれ!
きみの
おかげや!!

よくやったな
マンガもええが
そんな紙も
また
ええもんや

おれもな
おまえが
ここまで
やれるとは
思わん
かったぞ

ぼく
自信
持った
で!



昭和十九年:
手塚のかきつづけた
マンガはいつのまにか
三千枚もたまった

手塚のマンガの
一番の理解者だった
明石は 予科練を
受けて学校を
やめていった

そして昭和二十年
明石はフィリピンで
敵艦に突っこんで
自爆した

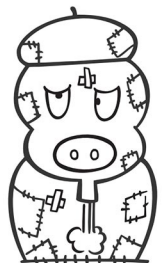
明石は
自分の死に場所へ



手塚のかいた
クミコちゃんの
絵を腹にまいて
持っていったと
いう話である



〔ゴッドファーザーの息子〕 完



©Tezuka Productions